

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立馬込第三小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・新聞作りやパンフレット作りを取り入れることで、主体的に学習に取り組み、工夫して表現する児童が増えた。
- ・調べ学習やまとめる活動では、1人1台タブレットを活用したことで思考を深める学習となった。

(2) 課題

- ・資料の読み取りやグラフの特徴をつかみ、分かったことを表現する力が乏しいので、ペアやグループでの活用を取り入れて、表現する手だてとする。
- ・見学や実地調査、インタビューなどの体験的な学びの時間を確保することが難しいが、授業の計画を調整し、活動の時間の確保に努める。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	達成率は7割をやや下回っている。		
第5学年	達成率は7割をやや下回っている。	(第4学年時) 達成率は7割を上回っている。	
第6学年	達成率は7割をやや下回っている。	(第5学年時) 達成率は7割を上回っている。	(第4学年時) 達成率は約8割である。

達成率とは、目標値^{※1}以上の正答率^{※2}だった児童の割合

(目標値以上の児童数÷受験者数×100 (%))

例えば、達成率が7割ということは、目標値に達成した児童の割合が7割ということ。全体の児童が100人としたら、目標値に達しているのは70人で残りの30人は、前年度の基礎的な内容の定着に課題があることを示す。

※1 目標値とは、調査において前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される正答率の値

※2 正答率とは、出題数に対する正解した問題数の割合

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 写真や資料の読み取りの問題で目標値を下回っている。読み取りが苦手な傾向がある。 くらしの移り変わりに関する問題は全て目標値を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見て仕組みを表現する問題や年表から移り変わりを捉える問題で目標値を下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> どの問題も目標値を上回っている。 記述問題については無回答の児童も見られた。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 正答率は5・6年生共に目標値を上回っている。 5年生は生活領域の記述での回答が苦手である。 6年生は、食糧生産のグラフの読み取りが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は5・6年生共に目標値を上回っている。 5年生はくらしを支える水や特色ある地域の様子などにおいては目標値を大きく上回っている。 6年生は資料に着目して読み取る問題に対して苦手がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 正答率は5・6年生共に目標値を上回っている。 5年生は、どの領域においても目標値を上回っている。 6年生は、記述式の問題の正答率が高い。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 各単元の中で資料や写真から読み取ったことを共有する活動を多く設定する。 昔の道具がどのように変化したかについては、実際に触り、動画で確認することで知識として定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真から仕事内容とその目的をしっかりと結び付けられるように、友達に説明する活動を取り入れる。 必ず個人のまとめを行い、考えたことや疑問を振り返る時間を設ける。活動中には教師がフォローを行い、分からないままにすることがないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習を展開できるように、実際に見学に行く機会を多く設ける。見学できない場合も動画を見るなどの活動を必ず取り入れる。 疑問に思ったことを共有し、意欲をもって学習に取り組めるようにする。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 分からない言葉は、タブレットを活用して自分で調べられるようにする。 資料集を活用して表やグラフに触れる時間を増やし、読み取ったことを共有できるようにする。 ノートに記入をする際に、大切な単語は色を変えて記入する、枠で囲うなどの強調をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題に対して、自分の考えを表現し、友達と交流する活動を設定し多様な考えに触れられるようにする。 グラフをよくむだけではなく、グラフをかく作業を取り入れ、そこから問題を考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集だけでなく、タブレットも活用して調べられるようにする。 クラス全員で問題を共有して学習問題作りを行い、課題を自分事として捉えられるようにする。 体験的に学習し、実物を見学する時間を設定する。